

東急車輛製造株式会社の鉄道車両製造事業の経営権取得について

東日本旅客鉄道株式会社(以下「JR東日本」と)と東京急行電鉄株式会社(以下「東急電鉄」)は、東急電鉄の完全子会社である東急車輛製造株式会社(以下「東急車輛」)の鉄道車両製造事業の経営権をJR東日本が取得することに合意いたしました。

1 経営権取得に係るスキーム

東急電鉄は、東急車輛の鉄道車両製造事業を、2012年4月1日(予定)をもって、今後設立予定の東急電鉄の完全子会社(以下「鉄道車両新会社」)に吸収分割いたします。

JR東日本は、2012年4月2日(予定)をもって、鉄道車両新会社の全株式を東急電鉄から取得し、鉄道車両新会社を完全子会社化いたします。

なお、鉄道車両新会社の商号につきましては、経営権取得までの間に決定することといたします。

2 経営権取得の目的とその後の展開

車両製造事業を「経営の第4の柱」として確立

JR東日本は、新津車両製作所において17年間で約3,600両の車両を製造し、ステンレス通勤車両の製造技術を向上させてきました。今回、東急車輛の有する開発設計力や特急車両の製造能力をJR東日本グループに取り込み、新津車両製作所との相乗効果を発揮します。これにより、車両製造事業をJR東日本グループの「経営の第4の柱」として確立し、鉄道技術をリードする企業グループとしての一段の飛躍に挑戦いたします。

国内市場への事業展開

価格競争力のある車両製造と、JR東日本グループの効率的な車両検査体系のソフト・ハード両面のノウハウを組み合わせ、高品質・低コストな車両を提供することで、国内市場における事業展開をめざします。

海外市場への事業展開

今後、鉄道車両製造・車両メンテナンスの総合技術力にさらに磨きをかけ、新設コンサルタント会社(日本コンサルタンツ株)と連携しながら、都市圏輸送から高速鉄道までを視野に入れた海外での事業展開に挑んでまいります。

3 経営権取得の時期

2012年4月2日(予定)